

科名 泌尿器科

対象疾患名 がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌、腎細胞癌における術後補助療法

プロトコール名 キイトルーダ(3週毎)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	キイトルーダ 生食	200mg/body 100mL	30分かけて 投与前後生食フラッシュ	↓						

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル1(10%未満)

腎細胞癌の術後補助療法として使用する場合12ヵ月(17コース)までとする。

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。